

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	期限付き建築物構造性能小委員会	主 査 名：辻 聖晃 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：佐藤秀人
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>期限付き建築物とは、持続可能な社会の構築に向けた新たな設計思想に基づくものである。『期限付き建築物設計指針』を基に検討を行い、内容を深化させ、期限付き建築物のメリットを活かした、より合理的な設計体系を構築することを目的とする。</p> <p>2013 年度：『期限付き建築物設計指針』刊行に伴う講習会での質疑等の結果を踏まえた検討</p> <p>2014 年度：期限付き建築物の規模の考え方、安全係数の考え方などの検討 『期限付き建築物設計指針』の英語版の作成の遂行</p> <p>2015 年度：期限付き建築物のメリットを活かしたより合理的な設計法の開発 『期限付き建築物設計指針』の英語版刊行 シンポジウム（英語）の計画及び開催</p> <p>2016 年度：パネルディスカッションを開催し、一般会員へ公表し、意見交換を実施</p>	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査：辻 聖晃（京都大学） 幹事：木村 麗（建材試験センター） 委員：大山 宏（HRS オフィス）、萱嶋 誠（大成建設）、軽部 正彦（森林総合研究所）、 木村 衛（エイ構造研）、近藤 吉治（構造計画研究所）坂井 正美（アップコン）、 新藤 健太（森林総合研究所）、高橋 治（東京理科大学）、永野 康行（兵庫県立大学）、 林 篤（東日本旅客鉄道）、廣石 秀造（日本大学）、森 保宏（名古屋大学）、 柳澤 孝次（やなぎさわ伝統建築研究室）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2016 年度予算	390,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s31/

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. PD：期限付き建築物のメリットを活かした構造設計法の具現化 『構造部門(仮設構造)パネルディスカッション資料：同上』 参加者数 50名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. パネルディスカッションを開催し、一般会員へ公表し、意見交換を実施した。 2. 『期限付き建築物設計指針』英語版作成に対応した。
委員会活動の問題点・課題	1. 『期限付き建築物設計指針』(2013年刊行、500部作成)は、2016年度に入り残部0の状況である。後継の小委員会にて改版作成を予定しているため、当座の対応として、若干の増し刷りあるいはデジタル版での対応を事務局に相談したが、事実上困難である。新規委員も購入できず、また、PDの際に問合せが多くあり、必要性を感じている。必要とされる方に渡らない点に問題を感じる。